

FISHING トピック No.11

おもしろ きけん さかな 面白い&危険な魚

先日、北九州市立水環境館のイベント「もじの海岸で磯遊び！水辺の生き物調査」が当施設（もじ少年自然の家）で開催されました。30名の参加者の皆様と喜多久干潟の磯場で生き物探しに挑戦！青空の下で様々な生き物を捕まえました。時にはタコと大格闘！そして、今回の生き物調査では今まで発見したことがなかった2種類の不思議な魚と出会うことができました。まず、1種類目は…『ホウボウ』



ホウボウはとても面白い特徴をもった魚です。胸びれに3本の脚のように見える軟条（鰭にある筋）があり、それを使って海底を歩くように泳ぎながらエサをさがまわります。更に胸びれは異様に大きく光沢のある青緑色をしていて、海底で泳ぐ姿はまるで蝶が翅を広げているように見えます。ホウボウの名前の由来は諸説ありますが「方々を歩き回る魚」や「鳴き声がホウボウと聞こえる」が有力とされています。また、昔は身分が高い人が食べる高級な魚とされ「君魚」と呼ばれていました。不思議かつ面白い魚「ホウボウ」



に続き2種類目は…『オニオコゼ』オコゼの仲間はたくさん存在しますが、一般的にオコゼと言えばオニオコゼを指します。高級魚として知られるのと同時に毒を持つ魚としても有名です。毒は鋭く尖った背びれにあります。刺されるとズキズキとした激しい痛みを伴い、赤く腫れあがるそうです。岩に擬態していたり砂に潜っていたりとも見つけにくく、知らず知らずのうちに刺されてしまうことも！グロテスクな見た目のオニオコゼには十分に注意しよう。オニオコゼ以外にも毒を持った危険な魚がたくさんいます。みなさん、気を付けて海で遊びましょう！

今回の調査で見つけた「ホウボウ」と「オニオコゼ」は当施設（もじ少年自然の家）で期間限定で展示中です。ぜひ見に来てください！これからも喜多久干潟で見つけた面白い&不思議な生き物を「トピック」で紹介していきます。次はどんな生き物に出会えるかな？